

ウォン高の大きな意味

安倍政権が打ち出したアベノミクスで為替レートは大幅に円安方向に動いている。円ドルレートでは、昨年の秋の水準に比べ現時点で十数円円安になっているが、ウォンとの交換レートだともっと円安の幅は大きくなるはずだ。

こうした円安が日本の製造業にとって大きな恩恵をもたらしている。自動車産業は、一説では、円ドルレートが1円円安になっただけで800億円近い利益の増加が見込まれるという。もしこの数字が正しければ、十数円で1兆円近い利益増加という計算となる。

元重 伊藤

機構大教授 伊藤元重
研究開発 伊藤元重
総合事務 伊藤元重

こうしたこともあって製造業はみな喜んでいて。自動車や家電のような産業だけではない。化学メーカーのような、石油原料を大量に輸入して円安でコストアップがあるとと思われるような業界でも、下流の製品を大量に生産輸出しているの、円安のメリットは

日本に円安の好機到来

大きいようだ。ある大手化学メーカーの社長は、1円円安になれば30億円の利益増加が見込めると言っていた。自動車ほどではないにしても、大きな額の利益増加がある。

日本の製造業は自動車や家電など多くの分野で、韓国メーカーと世界中で競争を繰り広げてきた。円高であったことが修正されよう

としているのにすぎないのだ。

製造業への依存度が高い静岡県は、こうした円高是正によって特に大きな恩恵を受けるはずだ。また円高修正から時期が短いので、経済を活性化する効果は目につきにいが、この水準で為替レートが定着してくれば、その恩恵が少しずつ見えるようになるはずだ。こうした動きが雇用や賃金の上昇につながってくればよい。

製造業以外にも恩恵

ところで円安方向の動きは、製造業以外の分野にも大きな恩恵をもたらすはずだ。その代表的な例が観光である。円が安くなれば、それだけ海外の人は日本に来やすくなる。尖閣の問題などがあるの

で中国からの観光客はそれほど増えていないようだが、東南アジアや欧米からの観光客は増えているようだ。ウォンが高くなった韓国からの観光客も増えているという。こうした時期だからこそ、静岡県もさらに観光誘致に力を入れればよい。

円安でもう一つ期待できるのが、日本の農産物の輸出である。原発事故や円高で日本の農産物の輸出は厳しい環境にあった。しかし、放射能汚染の恐怖に対する近隣諸国の過剰反応は少しずつ収まりつつあるようだ。ここで円安のメリットを生かし、日本の食材を売り込むことに集中すべきだ。円安のメリットをみんなが受けるためには、タイミングのよい取り組みが必要であるからだ。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。